

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信/国内/不動産投信	
信託期間	信託期間は2004年8月31日から無期限です。	
運用方針	毎決算時の安定した収益分配と信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。	
主要運用対象	Jリートファンド	下記のマザーファンド受益証券を主要投資対象とします。
	Jリートマザーファンド(M)	わが国の金融商品取引所上場(上場予定を含みます。)の不動産投資信託証券を主要投資対象とします。
組入制限	Jリートファンド	株式への投資は行いません。 外貨建資産への投資は行いません。
	Jリートマザーファンド(M)	株式への投資は行いません。 外貨建資産への投資は行いません。
分配方針	毎月決算を行い、収益分配を目指します。 分配対象額は、経費控除後の利子・配当等収益及び売買益(評価益を含みます。)等の全額とします。 分配金額については、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行わないことがあります。	

当ファンドは特化型運用を行います。

当ファンドの実質投資対象であるわが国の金融商品取引所に上場しているJリートには、一般社団法人投資信託協会規則で定める寄与度が10%を超える又は超える可能性の高い支配的な銘柄が存在するため、特定の銘柄への投資が集中することがあります。

当該銘柄のエクスポージャーが投資信託財産の純資産総額の35%を超えないように運用を行います。ただし、当該Jリート及びJリートの運用会社に財政難、経営不振等が生じた場合又はそれが予想される場合には、大きな損失が発生することがあります。

Jリートファンド

運用報告書(全体版)

第231期 (決算日 2024年3月15日)	第234期 (決算日 2024年6月17日)
第232期 (決算日 2024年4月15日)	第235期 (決算日 2024年7月16日)
第233期 (決算日 2024年5月15日)	第236期 (決算日 2024年8月15日)

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚くお礼申しあげます。
さて、当ファンドはこのたび上記の決算を行いましたので、ここに期中の運用状況をご報告申しあげます。
今後とも一層のご愛顧を賜りますよう、お願い申しあげます。

三井住友トラスト・アセットマネジメント株式会社

〒105-0011 東京都港区芝公園一丁目1番1号

ホームページ <https://www.smtam.jp/>

- 口座残高など、お客さまのお取引内容についてのお問い合わせ
お取引のある販売会社へお問い合わせください。
- 当運用報告書についてのお問い合わせ
フリーダイヤル:0120-668001
(受付時間は営業日の午前9時～午後5時です。)

【本運用報告書の記載について】

- ・基準価額および税込分配金は1万円当たりで表記しています。
- ・原則として、数量、額面、金額の表記未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しています。
- ・一印は、組入、異動等の該当がないことを示します。
- ・指数に関する著作権等の知的財産権およびその他の一切の権利は指数の開発元もしくは公表元に帰属します。

最近5作成期の運用実績

作成期	決算期	基準価額			ベンチマーク		投資信託比率	純資産額
		(分配落)	税込分配金	期中騰落率	期中騰落率	期中騰落率		
第36	第207期(2022年 3月15日)	円	円	%		%	%	百万円
	第208期(2022年 4月15日)	6,444	65	0.6	4,200.48	0.2	98.5	39,545
	第209期(2022年 5月16日)	6,836	65	7.1	4,513.10	7.4	98.5	42,217
	第210期(2022年 6月15日)	6,729	65	△0.6	4,467.01	△1.0	98.7	42,001
	第211期(2022年 7月15日)	6,378	65	△4.3	4,278.73	△4.2	99.2	40,042
	第212期(2022年 8月15日)	6,538	65	3.5	4,461.14	4.3	99.0	41,533
第37	第213期(2022年 9月15日)	6,770	65	4.5	4,642.62	4.1	98.9	43,376
	第214期(2022年10月17日)	6,710	65	0.1	4,637.15	△0.1	98.5	43,490
	第215期(2022年11月15日)	6,283	65	△5.4	4,362.79	△5.9	98.2	41,357
	第216期(2022年12月15日)	6,353	65	2.1	4,488.41	2.9	98.8	42,217
	第217期(2023年 1月16日)	6,364	65	1.2	4,523.02	0.8	99.3	42,656
	第218期(2023年 2月15日)	5,956	65	△5.4	4,241.98	△6.2	98.8	40,189
第38	第219期(2023年 3月15日)	5,900	65	0.2	4,228.22	△0.3	98.6	40,225
	第220期(2023年 4月17日)	5,817	65	△0.3	4,239.09	0.3	98.4	39,818
	第221期(2023年 5月15日)	5,777	65	0.4	4,282.50	1.0	98.4	39,765
	第222期(2023年 6月15日)	5,919	65	3.6	4,448.03	3.9	98.8	40,875
	第223期(2023年 7月18日)	5,800	65	△0.9	4,424.14	△0.5	99.1	40,167
	第224期(2023年 8月15日)	5,739	65	0.1	4,419.59	△0.1	98.9	40,006
第39	第225期(2023年 9月15日)	5,757	65	1.4	4,444.11	0.6	98.8	40,167
	第226期(2023年10月16日)	5,751	65	1.0	4,505.79	1.4	98.4	40,116
	第227期(2023年11月15日)	5,479	65	△3.6	4,354.70	△3.4	98.3	38,288
	第228期(2023年12月15日)	5,546	65	2.4	4,439.81	2.0	98.7	38,636
	第229期(2024年 1月15日)	5,398	65	△1.5	4,371.88	△1.5	98.9	37,298
	第230期(2024年 2月15日)	5,447	65	2.1	4,465.10	2.1	98.5	37,234
第40	第231期(2024年 3月15日)	5,079	65	△5.6	4,204.47	△5.8	98.6	34,460
	第232期(2024年 4月15日)	5,059	65	0.9	4,228.19	0.6	98.0	33,937
	第233期(2024年 5月15日)	5,125	65	2.6	4,347.12	2.8	98.3	34,407
	第234期(2024年 6月17日)	5,185	65	2.4	4,454.21	2.5	98.5	34,970
	第235期(2024年 7月16日)	4,865	65	△4.9	4,239.82	△4.8	99.2	32,611
	第236期(2024年 8月15日)	4,885	55	1.5	4,314.16	1.8	98.3	32,578
	第236期(2024年 8月15日)	4,864	55	0.7	4,335.58	0.5	98.5	32,232

(注1)基準価額の騰落率は分配金込みです。

(注2)当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「投資信託証券組入比率」は実質比率を記載しております。

ベンチマークは、東証REIT指数(配当込み)です。

【「東証REIT指数」とは、株式会社J P X総研が算出、公表する指数で、東京証券取引所に上場しているREIT（不動産投資信託証券）全銘柄を対象とした時価総額加重型の指数です。

「配当込み」指数は、配当収益を考慮して算出した指数です。

【同指数】の指数値及び【同指数】に係る標章又は商標は、株式会社J P X総研又は株式会社J P X総研の関連会社（以下「J P X」という。）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など【同指数】に関するすべての権利・ノウハウ及び【同指数】に係る標章又は商標に関するすべての権利はJ P Xが有します。J P Xは、【同指数】の指数値の算出又は公表の誤謬、遅延又は中断に対し、責任を負いません。本商品は、J P Xにより提供、保証又は販売されるものではなく、本商品の設定、販売及び販売促進活動に起因するいかなる損害に対してもJ P Xは責任を負いません。

当作成期中の基準価額と市況の推移

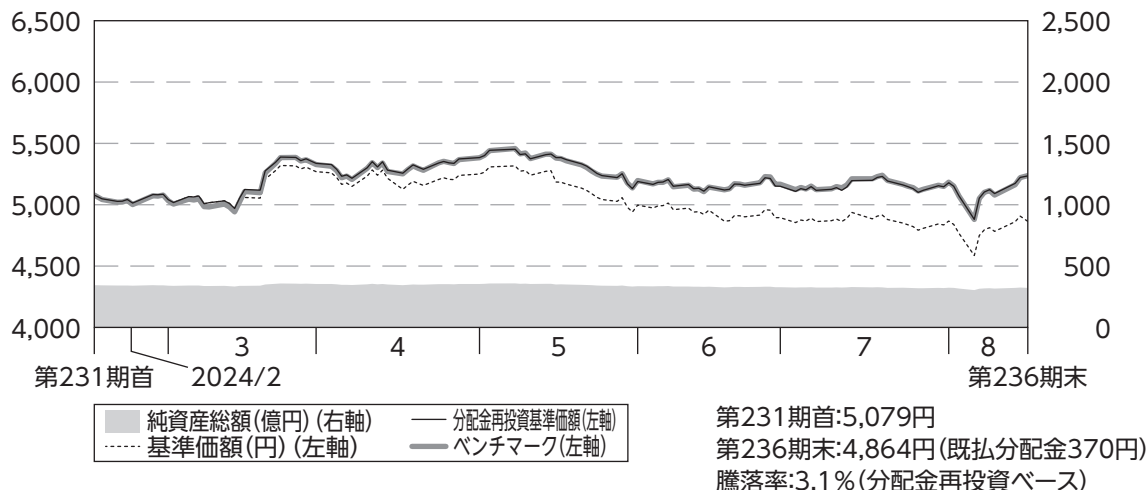
決算期	年 月 日	基 準 価 額		ベンチマーク		投資信託 証券組 入率 比
			騰落率		騰落率	
第231期	(期首)2024年2月15日	円 5,079	% —	4,204.47	% —	% 98.6
	(期末)2024年3月15日	5,124	0.9	4,228.19	0.6	98.0
第232期	(期首)2024年3月15日	5,059	—	4,228.19	—	98.0
	(期末)2024年4月15日	5,190	2.6	4,347.12	2.8	98.3
第233期	(期首)2024年4月15日	5,125	—	4,347.12	—	98.3
	(期末)2024年5月15日	5,250	2.4	4,454.21	2.5	98.5
第234期	(期首)2024年5月15日	5,185	—	4,454.21	—	98.5
	(期末)2024年6月17日	4,930	△4.9	4,239.82	△4.8	99.2
第235期	(期首)2024年6月17日	4,865	—	4,239.82	—	99.2
	(期末)2024年7月16日	4,940	1.5	4,314.16	1.8	98.3
第236期	(期首)2024年7月16日	4,885	—	4,314.16	—	98.3
	(期末)2024年8月15日	4,919	0.7	4,335.58	0.5	98.5

(注1) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

(注2) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「投資信託証券組入比率」は実質比率を記載しております。

当作成期中の運用経過と今後の運用方針

基準価額等の推移

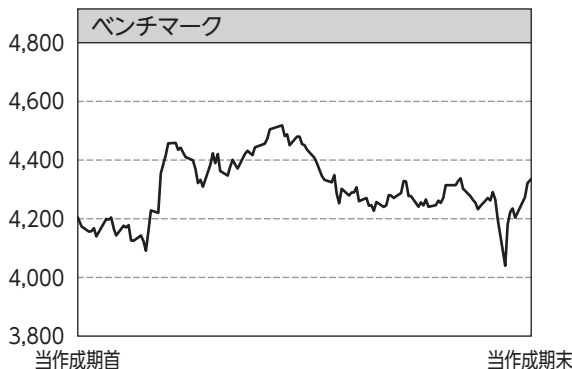


- (注1) 分配金再投資基準価額は、分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入金額により課税条件も異なります。従って、各個人のお客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額及びベンチマークは、2024年2月15日の値を基準価額に合わせて指数化しています。

基準価額の主な変動要因

当作成期初から4月末にかけては、3月の日銀金融政策決定会合を前に警戒的な見方が根強かったことなどから基準価額は上値が重く始まりましたが、金融政策の見直しについての観測報道等により想定ほどの変化がないことが確認されると基準価額は切り返す展開となりました。5月末にかけてはグローバル株価指数からのJ-REIT複数銘柄除外に伴う思惑等が影響し基準価額は軟調に推移しました。7月末にかけては、東京オフィス市況の回復が確認されるなどの明るい材料はあったものの、急速な円安進行などを受けて再び日銀による金融正常化への警戒感が高まったことなどから、基準価額は一進一退の展開となりました。当作成期末にかけては、7月末の日銀の利上げを受けた株式市場のリスクオフの流れが波及し急落する局面もありましたが、配当利回りでみた割安感に着目した資金流入がみられたことなどから切り返し、基準価額(分配金再投資ベース)は前作成期末を上回りました。

投資環境



当作成期初から4月末にかけては、3月の日銀金融政策決定会合を前に警戒的な見方が根強かったことなどからJ-REIT市場は上値が重く始まりましたが、金融政策の見直しについての観測報道等により想定ほどの変化がないことが確認されるとJ-REIT市場は切り返す展開となりました。5月末にかけてはグローバル株価指数からのJ-REIT複数銘柄除外に伴う思惑等が影響しJ-REIT市場は軟調に推移しました。7月末にかけては、東京オフィス市況の回復が確認されるなどの明るい材料があったものの、急速な円安進行などを受けて再び日銀による金融正常化への警戒感が高まったことなどから、J-REIT市場は一進一退の展開となりました。当作成期末にかけては、7月末の日銀の利上げを受けた株式市場のリスクオフの流れが波及しJ-REIT市場は急落する局面もありましたが、配当利回りでみた割安感に着目した資金流入がみられたことなどから切り返し、J-REIT市場は前作成期末比横ばいとなりました。

当ファンドのポートフォリオ

「Jリートマザーファンド(M)」受益証券を高位に組み入れ運用しました。

【「Jリートマザーファンド(M)」の運用経過】

主としてわが国の金融商品取引所に上場している不動産投資信託(J-REIT)に投資し、J-REITへの投資比率は、高位を維持しました。銘柄選定においては個別銘柄の保有物件の質や不動産運用能力を重視し、バリュエーション面も踏まえた運用を行いました。ポートフォリオにおいては、保有物件の質や不動産運用能力が高いと評価した銘柄や、安定配当や配当の成長性が期待できる銘柄の組入比率を高める一方、保有物件の質や不動産運用能力等における優位性が乏しいと判断した銘柄や流動性の低い銘柄等については非保有、または組入比率を低く抑える運用を行いました。

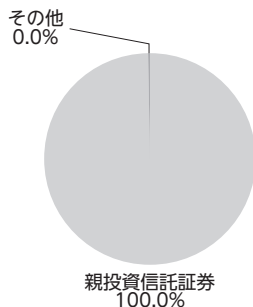
当ファンドの組入資産の内容

○組入ファンド

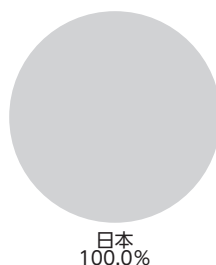
	当作成期末
	2024年8月15日
Jリートマザーファンド(M)	100.0%
その他	0.0%
組入ファンド数	1

(注)組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

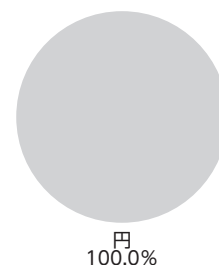
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分

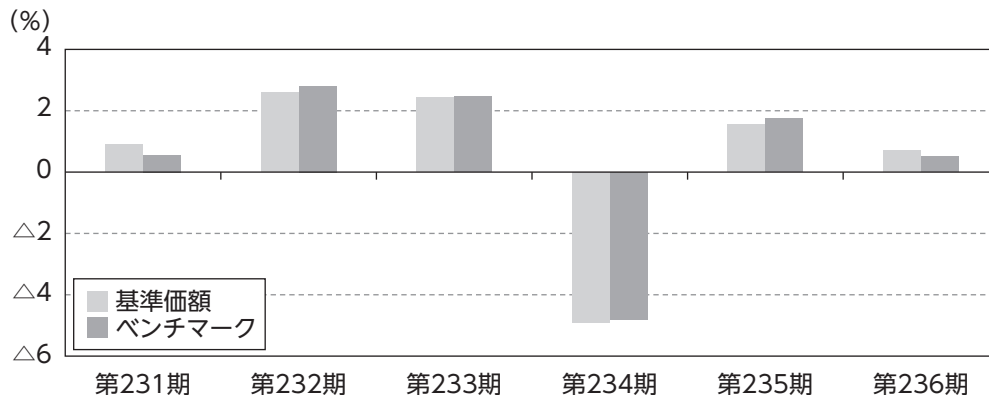


(注)資産別・通貨別配分の比率は純資産総額に対する評価額の割合、国別配分の比率は組入証券評価額に対する評価額の割合です。その他は未収・未払金等の発生により、数値がマイナスになることがあります。

当ファンドのベンチマークとの差異

以下のグラフは、当ファンドの基準価額(分配金込み)とベンチマークの騰落率の対比です。

当ファンドの基準価額騰落率は、ベンチマーク騰落率を下回りました。マザーファンドにおいて、賃料上昇等による収益改善期待などからオーバーウェイトとした銘柄(日本アコモデーションファンド投資法人等)などのパフォーマンスがベンチマークをアウトパフォームし、個別銘柄要因がプラスに寄与したものの、ベビーファンドにおける信託報酬要因などがマイナスに影響しました。



分配金

分配金額は、各期ごとの経費控除後の利子・配当等収益、基準価額水準等を考慮して以下の通りとさせていただきます。

なお、収益分配に充てず信託財産内に留保した利益については、運用の基本方針に基づいて運用を行います。

(1万口当たり・税引前)

項目	第231期	第232期	第233期	第234期	第235期	第236期
	2024年2月16日～ 2024年3月15日	2024年3月16日～ 2024年4月15日	2024年4月16日～ 2024年5月15日	2024年5月16日～ 2024年6月17日	2024年6月18日～ 2024年7月16日	2024年7月17日～ 2024年8月15日
当期分配金 (円)	65	65	65	65	55	55
(対基準価額比率) (%)	(1.269)	(1.252)	(1.238)	(1.318)	(1.113)	(1.118)
当期の収益 (円)	40	10	5	10	21	10
当期の収益以外 (円)	25	54	60	55	33	45
翌期繰越分配対象額 (円)	7,832	7,778	7,720	7,667	7,633	7,590

(注1)「当期の収益」及び「当期の収益以外」は、円未満を切り捨てて表示していることから、合計した額が「当期分配金」と一致しない場合があります。

(注2) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金(税引前)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注3) 一印は該当がないことを示します。

今後の運用方針

Jリートマザーファンド(M)受益証券への投資を通じて、わが国の金融商品取引所上場(上場予定を含みます。)の不動産投資信託証券に投資します。

東証REIT指数(配当込み)を上回る投資成果を目標として運用を行い、毎決算時の安定した収益分配と信託財産の中長期的な成長を目指します。

1万口当たりの費用明細

項目	当作成期		項目の概要
	(2024年2月16日～2024年8月15日)		
	金額	比率	
(a) 信託報酬	21円	0.410%	(a) 信託報酬 = [期中の平均基準価額] × 信託報酬率 期中の平均基準価額は5,053円です。 信託報酬に係る消費税は当(作成)期末の税率を採用しています。
(投信会社)	(11)	(0.208)	委託した資金の運用、基準価額の計算、開示資料作成等の対価 交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(販売会社)	(9)	(0.175)	
(受託会社)	(1)	(0.027)	
(b) 売買委託手数料	0	0.008	(b) 売買委託手数料 = $\frac{[期中の売買委託手数料]}{[期中の平均受益権口数]} \times 10,000$
(株式)	(-)	(-)	売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(新株予約権証券)	(-)	(-)	
(オプション証券等)	(-)	(-)	
(新株予約権付社債(転換社債))	(-)	(-)	
(投資信託証券)	(0)	(0.008)	
(商品)	(-)	(-)	
(先物・オプション)	(-)	(-)	
(c) 有価証券取引税	-	-	(c) 有価証券取引税 = $\frac{[期中の有価証券取引税]}{[期中の平均受益権口数]} \times 10,000$
(株式)	(-)	(-)	有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(新株予約権証券)	(-)	(-)	
(オプション証券等)	(-)	(-)	
(新株予約権付社債(転換社債))	(-)	(-)	
(公社債)	(-)	(-)	
(投資信託証券)	(-)	(-)	
(d) その他費用	0	0.002	(d) その他費用 = $\frac{[期中のその他費用]}{[期中の平均受益権口数]} \times 10,000$
(保管費用)	(-)	(-)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用 監査費用は、監査法人に支払うファンドの監査に係る費用 その他は、信託事務の処理等に要するその他諸費用
(監査費用)	(0)	(0.002)	
(その他)	(-)	(-)	
合計	21	0.420	

(注1) 期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
なお、売買委託手数料、有価証券取引税及びその他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

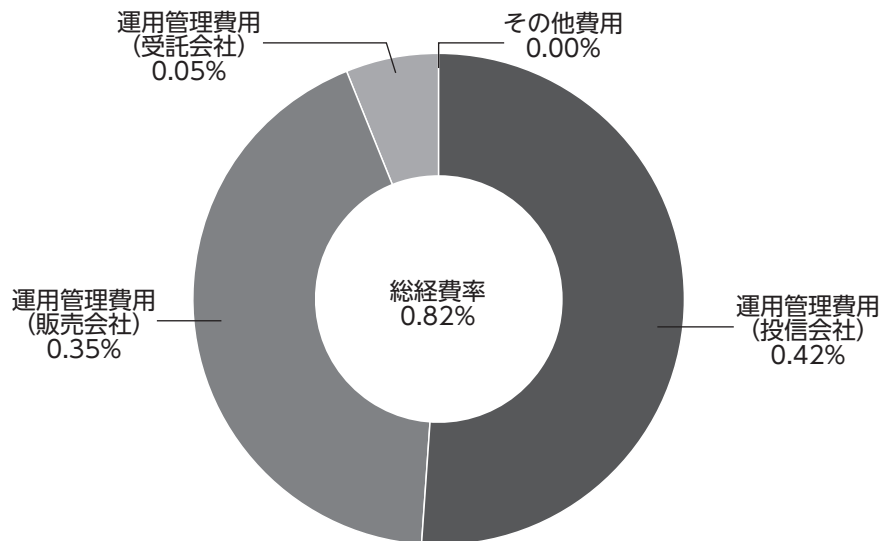
(注2) 各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 「比率」欄は、1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

<参考情報>

総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額(原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。)を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額(1口当たり)を乗じた数で除した総経費率(年率)は0.82%です。



(注1)各費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2)各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注3)各比率は、年率換算した値です。

(注4)上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

売買および取引の状況

<親投資信託受益証券の設定、解約状況>

	当 作 成 期			
	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
Jリートマザーファンド(M)	千口 324,634	千円 1,134,620	千口 1,302,793	千円 4,514,027

利害関係人^{*}との取引状況等

■利害関係人との取引状況

区 分	当 作 成 期					
	買付額等A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
金 銭 信 託	百万円 0.300898	百万円 0.300898	% 100.0	百万円 0.300898	百万円 0.300898	% 100.0
コール・ローン	5,767	960	16.6	5,751	947	16.5

(注)当該取引に係る利害関係人は、三井住友信託銀行株式会社です。

<Jリートマザーファンド(M)>

区 分	当 作 成 期					
	買付額等A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
金 銭 信 託	百万円 1	百万円 1	% 100.0	百万円 1	百万円 1	% 100.0
コール・ローン	40,220	6,729	16.7	40,234	6,619	16.5

<平均保有割合 84.8%>

(注1)平均保有割合とは、親投資信託の残存口数の合計に対する当ファンドの親投資信託所有口数の割合です。

(注2)当該取引に係る利害関係人は、三井住友信託銀行株式会社です。

組入資産の明細

<親投資信託残高>

種 類	前 作 成 期 末		当 作 成 期 末	
	口 数	口 数	口 数	評 価 額
Jリートマザーファンド(M)	千口 10,130,811	千口 9,152,652	千円 32,226,487	

(注)親投資信託の当作成期末現在の受益権総口数は、10,852,630千口です。

*利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

投資信託財産の構成

項 目	当 作 成 期 末	
	評 価 額	比 率
Ｊリートマザーファンド(M)	千円 32,226,487	% 98.7
コール・ローン等、その他	434,146	1.3
投資信託財産総額	32,660,633	100.0

資産、負債、元本および基準価額の状況ならびに損益の状況

■資産、負債、元本および基準価額の状況

項 目	第 231 期 末 2024年3月15日現在	第 232 期 末 2024年4月15日現在	第 233 期 末 2024年5月15日現在	第 234 期 末 2024年6月17日現在	第 235 期 末 2024年7月16日現在	第 236 期 末 2024年8月15日現在
(A) 資 産	34,453,147,905円	34,899,414,141円	35,461,230,435円	33,108,398,213円	33,019,224,921円	32,660,633,354円
コール・ローン等	52,489,031	70,552,913	61,459,043	43,103,995	49,155,082	60,883,606
Ｊリートマザーファンド(M) (評価額)	33,929,077,501	34,393,954,276	34,952,526,432	32,604,753,954	32,585,810,880	32,226,487,875
未 収 入 金	471,581,373	434,906,824	447,244,848	460,540,184	384,258,868	373,261,511
未 収 利 息	—	128	112	80	91	362
(B) 負 債	515,268,480	492,212,851	491,124,513	497,163,509	440,885,440	428,105,271
未払収益分配金	436,027,885	436,344,951	438,410,134	435,668,353	366,829,778	364,477,319
未払解約金	56,872,819	31,154,649	28,612,953	36,091,521	52,432,506	41,774,369
未払信託報酬	22,235,296	24,570,767	23,963,415	25,252,563	21,490,863	21,717,071
未払利息	8	—	—	—	—	—
その他未払費用	132,472	142,484	138,011	151,072	132,293	136,512
(C) 純資産総額(A-B)	33,937,879,425	34,407,201,290	34,970,105,922	32,611,234,704	32,578,339,481	32,232,528,083
元 本	67,081,213,150	67,129,992,465	67,447,712,989	67,025,900,601	66,696,323,412	66,268,603,484
次期繰越損益金	△33,143,333,725	△32,722,791,175	△32,477,607,067	△34,414,665,897	△34,117,983,931	△34,036,075,401
(D) 受益権総口数	67,081,213,150口	67,129,992,465口	67,447,712,989口	67,025,900,601口	66,696,323,412口	66,268,603,484口
1万口当たり基準価額(C/D)	5,059円	5,125円	5,185円	4,865円	4,885円	4,864円

■損益の状況

項 目	第 231 期	第 232 期	第 233 期	第 234 期	第 235 期	第 236 期
	自 2024年2月16日 至 2024年3月15日	自 2024年3月16日 至 2024年4月15日	自 2024年4月16日 至 2024年5月15日	自 2024年5月16日 至 2024年6月17日	自 2024年6月18日 至 2024年7月16日	自 2024年7月17日 至 2024年8月15日
(A) 配 当 等 収 益	△348円	2,769円	2,580円	2,761円	2,151円	5,149円
受 取 利 息	—	2,795	2,580	2,761	2,151	5,149
支 払 利 息	△348	△26	—	—	—	—
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	323,084,025	897,913,170	857,764,741	△1,677,010,606	514,947,554	249,963,110
売 買 益	338,842,032	907,504,903	862,859,993	14,078,184	517,973,689	260,108,416
売 買 損	△15,758,007	△9,591,733	△5,095,252	△1,691,088,790	△3,026,135	△10,145,306
(C) 信 託 報 酬 等	△22,367,768	△24,713,251	△24,101,426	△25,403,635	△21,623,156	△21,853,583
(D) 当 期 損 益 金 (A+B+C)	300,715,909	873,202,688	833,665,895	△1,702,411,480	493,326,549	228,114,676
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	△7,691,206,109	△7,589,728,401	△6,764,587,878	△5,884,745,949	△7,561,769,568	△7,073,433,053
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	△25,316,815,640	△25,569,920,511	△26,108,274,950	△26,391,840,115	△26,682,711,134	△26,826,279,705
(配 当 等 相 当 額)	(52,660,413,212)	(52,532,796,388)	(52,444,931,176)	(51,715,462,999)	(51,095,255,503)	(50,569,807,422)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△77,977,228,852)	(△78,102,716,899)	(△78,553,206,126)	(△78,107,303,114)	(△77,777,966,637)	(△77,396,087,127)
(G) 計 (D+E+F)	△32,707,305,840	△32,286,446,224	△32,039,196,933	△33,978,997,544	△33,751,154,153	△33,671,598,082
(H) 収 益 分 配 金	△436,027,885	△436,344,951	△438,410,134	△435,668,353	△366,829,778	△364,477,319
次 期 繰 越 損 益 金 (G+H)	△33,143,333,725	△32,722,791,175	△32,477,607,067	△34,414,665,897	△34,117,983,931	△34,036,075,401
追 加 信 託 差 損 益 金	△25,484,518,673	△25,905,570,474	△26,512,961,228	△26,760,482,568	△26,882,800,104	△27,124,488,421
(配 当 等 相 当 額)	(52,494,163,504)	(52,197,649,408)	(52,040,712,972)	(51,347,455,428)	(50,895,870,458)	(50,272,865,176)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△77,978,682,177)	(△78,103,219,882)	(△78,553,674,200)	(△78,107,937,996)	(△77,778,670,562)	(△77,397,353,597)
分 配 準 備 積 立 金	48,855,784	18,413,764	30,272,549	42,556,760	16,946,644	31,386,253
繰 越 損 益 金	△7,707,670,836	△6,835,634,465	△5,994,918,388	△7,696,740,089	△7,252,130,471	△6,942,973,233

(注1) (B)有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) (C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

<注記事項>

※当ファンドの第231期首元本額は67,845,785,735円、第231～236期中追加設定元本額は3,998,447,271円、第231～236期中一部解約元本額は5,575,629,522円です。

※分配金の計算過程

項 目	第 231 期	第 232 期	第 233 期	第 234 期	第 235 期	第 236 期
(A) 配当等収益額(費用控除後)	269,887,885円	70,493,757円	45,640,955円	78,579,050円	141,275,187円	80,054,651円
(B) 有価証券売買等損益額 (費用控除後・繰越欠損金補填後)	—円	—円	—円	—円	—円	—円
(C) 収益調整金額	52,661,866,537円	52,533,299,371円	52,445,399,250円	51,716,097,881円	51,095,959,428円	50,571,073,892円
(D) 分配準備積立金額	47,292,751円	48,614,995円	18,355,450円	31,003,610円	42,412,265円	17,600,205円
(E) 分配対象収益額(A+B+C+D)	52,979,047,173円	52,652,408,123円	52,509,395,655円	51,825,680,541円	51,279,646,880円	50,668,728,748円
(F) 期末残存口数	67,081,213,150口	67,129,992,465口	67,447,712,989口	67,025,900,601口	66,696,323,412口	66,268,603,484口
(G) 収益分配対象額(1万口当たり) (E/F×10,000)	7,897円	7,843円	7,785円	7,732円	7,688円	7,645円
(H) 分配金額(1万口当たり)	65円	65円	65円	65円	55円	55円
(I) 収益分配金金額(F×H/10,000)	436,027,885円	436,344,951円	438,410,134円	435,668,353円	366,829,778円	364,477,319円

分配金のお知らせ

	第 231 期	第 232 期	第 233 期	第 234 期	第 235 期	第 236 期
1 万 口 当 たり 分 配 金	65円	65円	65円	65円	55円	55円

(注)分配金は各決算日から起算して5営業日までにお支払いを開始しております。

【分配金の課税上の取扱いについて】

- ・収益分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金(特別分配金)」(受益者毎の元本の一部払戻しに相当する部分)の区分があります。

受益者が収益分配金を受け取る際、

- A. 当該収益分配金落ち後の基準価額が当該受益者の個別元本と同額の場合又は当該受益者の個別元本を上回っている場合には、当該収益分配金の全額が普通分配金となり、
- B. 当該収益分配金落ち後の基準価額が当該受益者の個別元本を下回っている場合には、その下回る部分の額が元本払戻金(特別分配金)となり、当該収益分配金から当該元本払戻金(特別分配金)を控除した額が普通分配金となります。

なお、受益者が元本払戻金(特別分配金)を受け取った場合、収益分配金発生時にその個別元本から当該元本払戻金(特別分配金)を控除した額が、その後の当該受益者の個別元本となります。

- ・課税上の詳細につきましては、税務専門家等にご確認されることをお勧めいたします。
- ・税法が改正された場合などは、上記の内容が変更になる場合があります。

お知らせ

該当事項はありません。

Jリートマザーファンド（M）

運用報告書

第20期（決算日 2024年8月15日）

当親投資信託の仕組みは次の通りです。

信託期間	信託期間は2004年8月31日から無期限です。
運用方針	中長期的な信託財産の成長を目指して運用を行います。
主要運用対象	わが国の金融商品取引所上場（上場予定を含みます。）の不動産投資信託証券を主要投資対象とします。
組入制限	株式への投資は行いません。 外貨建資産への投資は行いません。

当親投資信託はこのたび上記の決算を行いましたので、期中の運用状況をご報告申し上げます。

三井住友トラスト・アセットマネジメント株式会社

【本運用報告書の記載について】

- ・基準価額は1万円当たりで表記しています。
- ・原則として、数量、額面、金額の表記未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しています。
- ・一印は、組入、異動等の該当がないことを示します。
- ・指数に関する著作権等の知的財産権およびその他の一切の権利は指数の開発元もしくは公表元に帰属します。

最近5期の運用実績

決算期	基準価額		ベンチマーク		投資信託 資産組 比率	純資産 総額
	円	騰落率	円	騰落率		
第16期(2020年8月17日)	28,568	△11.3	3,587.71	△14.5	98.7	百万円 47,398
第17期(2021年8月16日)	36,926	29.3	4,719.98	31.6	98.9	53,921
第18期(2022年8月15日)	36,628	△0.8	4,642.62	△1.6	98.9	49,946
第19期(2023年8月15日)	35,737	△2.4	4,444.11	△4.3	98.9	46,585
第20期(2024年8月15日)	35,210	△1.5	4,335.58	△2.4	98.6	38,212

当期中の基準価額と市況の推移

年月日	基準価額		ベンチマーク		投資信託 資産組 比率
	円	騰落率	円	騰落率	
(当期首) 2023年 8月15日	35,737	—	4,444.11	—	98.9
8月末	36,400	1.9	4,539.20	2.1	98.2
9月末	35,940	0.6	4,468.30	0.5	98.2
10月末	35,162	△1.6	4,372.14	△1.6	98.5
11月末	35,733	△0.0	4,455.46	0.3	98.9
12月末	35,377	△1.0	4,382.85	△1.4	98.4
2024年 1月末	35,321	△1.2	4,378.56	△1.5	98.3
2月末	33,753	△5.6	4,166.74	△6.2	97.6
3月末	35,776	0.1	4,410.17	△0.8	98.1
4月末	36,115	1.1	4,455.74	0.3	98.3
5月末	34,830	△2.5	4,302.09	△3.2	98.9
6月末	34,590	△3.2	4,277.59	△3.7	98.5
7月末	34,819	△2.6	4,290.75	△3.5	98.1
(当期末) 2024年 8月15日	35,210	△1.5	4,335.58	△2.4	98.6

(注)騰落率は期首比です。

ベンチマークは、東証REIT指数(配当込み)です。

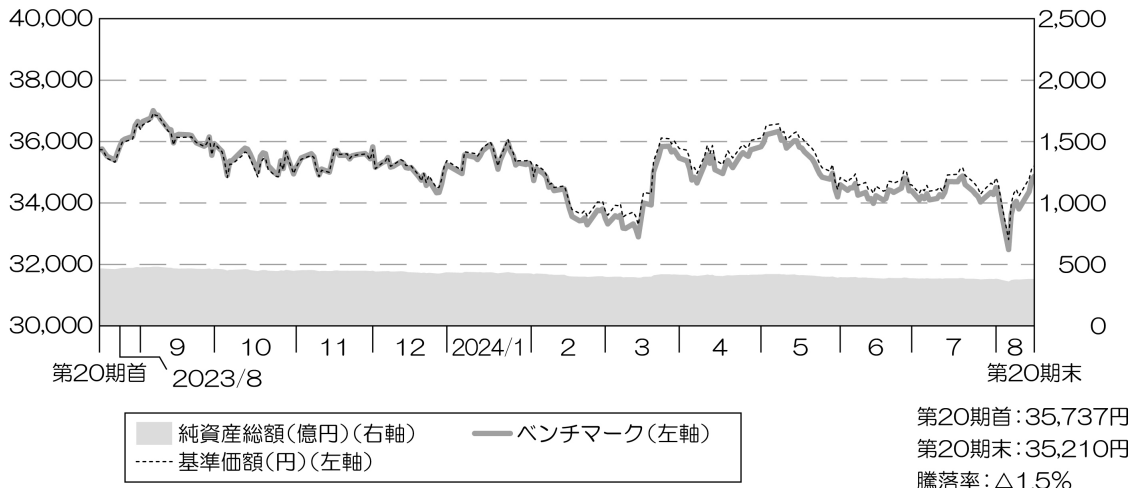
【「東証REIT指数」】とは、株式会社J P X総研が算出、公表する指数で、東京証券取引所に上場しているREIT（不動産投資信託証券）全銘柄を対象とした時価総額加重型の指数です。

「配当込み」指数は、配当収益を考慮して算出した指数です。

【同指数】の指数値及び【同指数】に係る標章又は商標は、株式会社J P X総研又は株式会社J P X総研の関連会社（以下「J P X」という。）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など【同指数】に関するすべての権利・ノウハウ及び【同指数】に係る標章又は商標に関するすべての権利はJ P Xが有します。J P Xは、【同指数】の指数値の算出又は公表の誤謬、遅延又は中断に対し、責任を負いません。本商品は、J P Xにより提供、保証又は販売されるものではなく、本商品の設定、販売及び販売促進活動に起因するいかなる損害に対してもJ P Xは責任を負いません。

当期中の運用経過と今後の運用方針

基準価額等の推移



(注) ベンチマークは、2023年8月15日の値を基準価額に合わせて指数化しています。

基準価額の主な変動要因

当期初から年末にかけては、日銀による金融政策正常化の影響に対する慎重な見方や、世界的な利上げ長期化が意識されたことなどから基準価額は下落しました。その後は複数銘柄による公募増資を受けて短期的な需給悪化懸念が意識されたことなどからJ-REIT市場は軟調に推移し、基準価額は下落しましたが、3月の日銀金融政策決定会合における金融政策の見直しについての観測報道等により想定ほどの変化がないことが確認されると基準価額は切り返す展開となりました。5月末にかけては、グローバル株価指数からのJ-REIT複数銘柄除外に伴う思惑等が影響し基準価額は軟調に推移しました。7月末にかけては、東京オフィス市況の回復が確認されるなどの明るい材料はあったものの、急速な円安進行などを受けて再び日銀による金融正常化への警戒感が高まったことなどから基準価額は一進一退の展開となりました。当期末にかけては、7月末の日銀の利上げを受けた株式市場のリスクオフの流れが波及し急落する局面もありましたが、配当利回りでみた割安感に着目した資金流入がみられたことなどから切り返したものの、基準価額は前期末を下回りました。

当ファンドの組入資産の内容

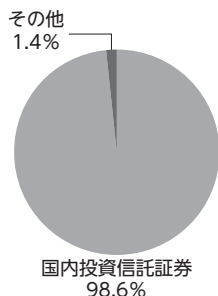
○上位10銘柄

順位	銘柄名	国・地域	組入比率
1	日本ビルファンド投資法人	日本	9.0%
2	ジャパンリアルエステイト投資法人	日本	7.6%
3	日本都市ファンド投資法人	日本	6.4%
4	GLP投資法人	日本	5.8%
5	インヴィンシブル投資法人	日本	4.5%
6	ユナイテッド・アーバン投資法人	日本	4.4%

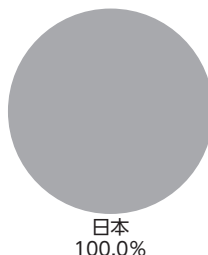
順位	銘柄名	国・地域	組入比率
7	大和ハウスリート投資法人	日本	4.3%
8	日本アコモデーションファンド投資法人	日本	4.0%
9	オリックス不動産投資法人	日本	3.8%
10	三井不動産ロジスティクスパーク投資法人	日本	3.7%
組入銘柄数			45

(注)組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

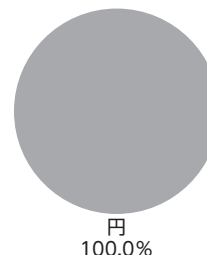
○資産別配分



○国別配分



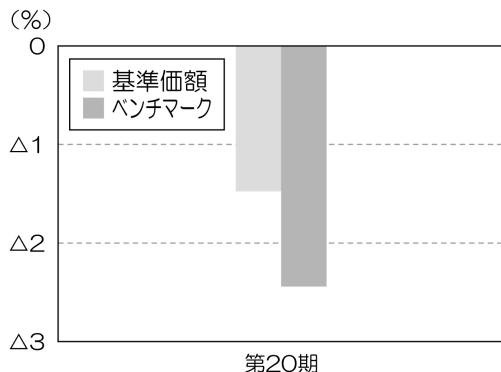
○通貨別配分



(注)資産別・通貨別配分の比率は純資産総額に対する評価額の割合、国別配分の比率は組入証券評価額に対する評価額の割合です。その他は未収・未払金等の発生により、数値がマイナスになることがあります。

当ファンドのベンチマークとの差異

以下のグラフは、当ファンドの基準価額とベンチマークの騰落率の対比です。



当ファンドの基準価額騰落率は、ベンチマーク騰落率を上回りました。マザーファンドにおいて、新型コロナウイルス収束後のホテル収益改善期待などからオーバーウェイトとしたホテル関連銘柄(インヴィンシブル投資法人等)などのパフォーマンスがベンチマークをアウトパフォーマンスし、個別銘柄要因がプラスに寄与しました。

今後の運用方針

主として、わが国の金融商品取引所上場(上場予定を含みます。)の不動産投資信託証券に投資します。

東証REIT指数(配当込み)を上回る投資成果を目標として運用を行い、安定した収益の確保と信託財産の中長期的な成長を目指します。

1万口当たりの費用明細

項目	当期		項目の概要
	(2023年8月16日～2024年8月15日)		
	金額	比率	
(a) 売買委託手数料	6円	0.016%	$(a) \text{ 売買委託手数料} = \frac{\text{[期中の売買委託手数料]}}{\text{[期中の平均受益権口数]}} \times 10,000$ 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（株式）	(-)	(-)	
（新株予約権証券）	(-)	(-)	
（オプション証券等）	(-)	(-)	
（新株予約権付社債（転換社債））	(-)	(-)	
（投資信託証券）	(6)	(0.016)	
（商品） （先物・オプション）	(-) (-)	(-) (-)	
(b) 有価証券取引税	-	-	$(b) \text{ 有価証券取引税} = \frac{\text{[期中の有価証券取引税]}}{\text{[期中の平均受益権口数]}} \times 10,000$ 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
（株式）	(-)	(-)	
（新株予約権証券）	(-)	(-)	
（オプション証券等）	(-)	(-)	
（新株予約権付社債（転換社債））	(-)	(-)	
（公社債） （投資信託証券）	(-) (-)	(-) (-)	
(c) その他費用	0	0.000	$(c) \text{ その他費用} = \frac{\text{[期中のその他費用]}}{\text{[期中の平均受益権口数]}} \times 10,000$ 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用 監査費用は、監査法人に支払うファンドの監査に係る費用 その他は、信託事務の処理等に要するその他諸費用
（保管費用）	(-)	(-)	
（監査費用）	(-)	(-)	
（その他）	(0)	(0.000)	
合計	6	0.016	

(注1) 期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 「比率」欄は、1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額(35,318円)で除して100を乗じたものです。

		当 期			
		買 付		売 付	
		口 数	金 額	口 数	金 額
国 内	大和証券オフィス投資法人	口 1,380 (1,950)	千円 794,441 (-)	口 450	千円 133,013
	大和ハウスリート投資法人	430	108,329	1,680	425,411
	ジャパン・ホテル・リート投資法人	161	11,596	3,511	251,186
	ジャパンエクセレント投資法人	600	71,248	900	114,860

(注1)金額は受渡代金です。

(注2) ()内は合併・分割・減資・償還等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

(注3)銘柄コードの変更等、管理の都合上により同一銘柄であっても別銘柄として記載されている場合があります。

利害関係人[※]との取引状況等

■利害関係人との取引状況

区 分	当			期		
	買付額等A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$ %	売付額等C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$ %
金 銭 信 託	百万円 5	百万円 5	100.0	百万円 5	百万円 5	100.0
コ ー ル ・ ロ ー ン	77,434	6,936	9.0	77,485	6,827	8.8

(注)当該取引に係る利害関係人は、三井住友信託銀行株式会社です。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

組入資産の明細

<国内投資信託受益証券、投資証券>

ファン ド 名	当期首(前期末)	当 期 末		
	口 数	口 数	評 価 額	比 率
	口	口	千円	%
サンケイリアルエステート投資法人	100	4,500	380,700	1.0
SOS i LA物流リート投資法人	200	200	23,460	0.1
日本アコモデーションファンド投資法人	2,340	2,280	1,518,480	4.0
森ヒルズリート投資法人	50	50	6,415	0.0
産業ファンド投資法人	4,100	5,050	627,210	1.6
アドバンス・レジデンス投資法人	1,220	1,200	402,600	1.1
ケネディクス・レジデンシャル・ネクスト投資法人	5,350	—	—	—
アクティビア・プロパティーズ投資法人	4,130	1,000	348,500	0.9
GLP投資法人	12,300	16,800	2,222,640	5.8
コンフォリア・レジデンシャル投資法人	4,212	3,862	1,216,530	3.2
日本プロロジスリート投資法人	4,190	4,190	1,115,378	2.9
星野リゾート・リート投資法人	1,720	1,785	912,135	2.4
イオンリート投資法人	150	100	13,170	0.0
ヒューリックリート投資法人	150	100	14,220	0.0
積水ハウス・リート投資法人	100	100	8,160	0.0
ケネディクス商業リート投資法人	50	—	—	—
ヘルスケア&メディカル投資法人	100	50	6,135	0.0
野村不動産マスターファンド投資法人	8,050	5,800	854,340	2.2
いちごホテルリート投資法人	5,900	4,900	585,550	1.5
ラサールロジポート投資法人	531	531	78,269	0.2
三井不動産ロジスティクスパーク投資法人	3,330	3,150	1,398,600	3.7
投資法人みらい	13,600	13,050	581,377	1.5
三菱地所物流リート投資法人	2,990	3,110	1,191,130	3.1
CREロジスティクスファンド投資法人	200	3,550	525,400	1.4
ザイマックス・リート投資法人	3,770	3,550	419,255	1.1
アドバンス・ロジスティクス投資法人	100	2,000	259,000	0.7
日本ビルファンド投資法人	6,600	5,650	3,452,150	9.0
ジャパンリアルエステイト投資法人	6,040	5,300	2,904,400	7.6
日本都市ファンド投資法人	29,250	26,300	2,427,490	6.4
オリックス不動産投資法人	13,000	9,400	1,459,820	3.8
日本プライムリアルティ投資法人	4,950	200	65,900	0.2
NTT都市開発リート投資法人	300	100	11,570	0.0
東急リアル・エステート投資法人	1,100	1,000	152,900	0.4
グローバル・ワン不動産投資法人	6,900	4,300	442,900	1.2
ユナイテッド・アーバン投資法人	15,100	11,800	1,686,220	4.4
森トラストリート投資法人	18,600	11,600	793,440	2.1
インヴェンシブル投資法人	29,768	27,000	1,701,000	4.5
フロンティア不動産投資法人	3,060	2,500	1,077,500	2.8
平和不動産リート投資法人	100	100	13,220	0.0
日本ロジスティクスファンド投資法人	500	800	208,720	0.5
福岡リート投資法人	6,150	5,150	804,945	2.1
KDX不動産投資法人	400	5,050	781,740	2.0
大和証券オフィス投資法人	870	3,750	1,134,375	3.0
阪急阪神リート投資法人	16	16	2,084	0.0

フ ァ ン ド 名	当期首(前期末)	当 期 末		
	口 数	口 数	評 価 額	比 率
	口	口	千円	%
大和ハウスリート投資法人	8,050	6,800	1,644,240	4.3
ジャパン・ホテル・リート投資法人	22,550	19,200	1,386,240	3.6
ジャパンエクセレント投資法人	6,900	6,600	801,900	2.1
合 計	259,137	233,524	37,661,409	
	銘 柄 数 <比 率>	47	45	<98.6%>

(注1)比率は、純資産総額に対する評価額の比率です。

(注2)合計欄の<>内は、純資産総額に対する評価額の比率です。

(注3)銘柄コードの変更等、管理の都合上により同一銘柄であっても別銘柄として記載されている場合があります。

※当期末現在の保有銘柄のうち、当社または当社の利害関係人が資産運用会社または一般事務受託会社である投資法人

①資産運用会社

日本ロジスティクスファンド投資法人については、当社の利害関係人である三井物産ロジスティクス・パートナーズ株式会社が資産運用会社となっております。

②一般事務受託会社

以下の投資法人については、当社の利害関係人である三井住友信託銀行株式会社が一般事務受託会社となっております。

投資法人名	
S O S i L A 物流リート投資法人	日本ビルファンド投資法人
日本アコモデーションファンド投資法人	オリックス不動産投資法人
森ヒルズリート投資法人	N T T 都市開発リート投資法人
産業ファンド投資法人	東急リアル・エステート投資法人
アドバンス・レジデンス投資法人	ユナイテッド・アーバン投資法人
アクティビア・プロパティーズ投資法人	森トラストリート投資法人
G L P 投資法人	インヴェンシブル投資法人
コンフォリア・レジデンシャル投資法人	フロンティア不動産投資法人
日本プロロジスリート投資法人	日本ロジスティクスファンド投資法人
イオンリート投資法人	福岡リート投資法人
ヘルスケア&メディカル投資法人	K D X 不動産投資法人
ラサールロジポート投資法人	大和証券オフィス投資法人
三井不動産ロジスティクスパーク投資法人	阪急阪神リート投資法人
投資法人みらい	大和ハウスリート投資法人
C R E ロジスティクスファンド投資法人	ジャパン・ホテル・リート投資法人
アドバンス・ロジスティクス投資法人	

投資信託財産の構成

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投 資 証 券	37,661,409	97.3
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	1,048,865	2.7
投 資 信 託 財 産 総 額	38,710,274	100.0

資産、負債、元本および基準価額の状況ならびに損益の状況

■資産、負債、元本および基準価額の状況

項 目	当 期 末 2024年8月15日現在
(A) 資 産	38,710,274,102円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	499,044,381
投 資 証 券(評価額)	37,661,409,700
未 収 入 金	152,841,758
未 収 配 当 金	396,975,290
未 収 利 息	2,973
(B) 負 債	498,011,572
未 払 金	124,750,061
未 払 解 約 金	373,261,511
(C) 純 資 産 総 額(A-B)	38,212,262,530
元 本	10,852,630,207
次 期 繰 越 損 益 金	27,359,632,323
(D) 受 益 権 総 口 数	10,852,630,207口
1万口当たり基準価額(C/D)	35,210円

■損益の状況

項 目	当 期 自 2023年8月16日 至 2024年8月15日
(A) 配 当 等 収 益	1,832,669,237円
受 取 配 当 金	1,832,610,458
受 取 利 息	113,207
そ の 他 収 益 金	2
支 払 利 息	△54,430
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	△2,594,031,309
売 買 益	292,962,632
売 買 損	△2,886,993,941
(C) そ の 他 費 用	△10
(D) 当 期 損 益 金(A+B+C)	△761,362,082
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	33,550,020,555
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	1,783,072,303
(G) 解 約 差 損 益 金	△7,212,098,453
(H) 計 (D+E+F+G)	27,359,632,323
次 期 繰 越 損 益 金(H)	27,359,632,323

(注1) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みません。

(注2) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注3) (G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

<注記事項>

※当ファンドの期首元本額は13,035,806,742円、期中追加設定元本額は706,768,844円、期中一部解約元本額は2,889,945,379円です。

※当ファンドを投資対象とする投資信託の当期末元本額は次の通りです。

Jリートファンド	9,152,652,052円
Jリートアクティブファンド(1年決算型)	1,453,520,098円
3資産バランスオープン	209,072,594円
3資産バランスオープンアルファ	37,385,463円

お知らせ

該当事項はありません。